

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	林道等維持管理費		部課コード	2703	予算事業科目	010602020179	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	農林水産部	部長名(2次評価者)	水口 俊智		個別事務	全部	010602020179	-	
	担当部署	鏡地域振興課	所属長名(1次評価者)	楠本 太			-			
	電話番号	088-896-2001	E-mail	kc-270300@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	01 A新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	生産性の向上や後継者の育成など経営基盤の強化を図るとともに、自然と共存し、都市と調和する林業の振興を図ります。
款	06 農林水産業費	政策	05 都市と調和した農林漁業の振興		
項	02 林業費	施策	05 林業基盤整備		
目	02 林業振興費	区分	01 林業振興事業		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市林道維持管理費交付金交付要綱	
その他(計画、覚書等)	高知市過疎地域自立促進計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市の管理する林道、作業道		
意図	どのような状態にしていけるのか	林道等を適正に管理することにより、安全性や利便性の確保、管理作業の省力化を進め、森林施業の効率化による森林整備の促進、林業の振興、森林の持つ多面的機能の確保・向上を図る。		
手段	事業実施体制等	地元への交付金の交付及び原材料の支給、外部発注による維持補修の実施	事業開始年度	平成17年度
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●地元による草刈り等の維持管理作業に対する交付金の交付 ●地元施工に係る舗装原材料(生コンクリート)の支給 ●業者発注による維持補修(崩土取り除き・補修工事等)の実施 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	交付対象とした林道等の延長	維持管理を実施し、交付金の対象とした林道等の延長(単位: Km)	
	B	林道等の原材料支給量	林道等の舗装に充てた原材料の支給量(単位: m ³)	
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄
成果指標	A	交付対象とした林道等の延長	目標 61	60.7	48.7	44.6	
		実績	60.7	48.7	44.6		
	B	林道等の原材料支給量	目標 129	123	124	124	
		実績	129	123	124		
	C	目標					
		実績					
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	4,563	6,241	4,713	5,897	※H22年度は当初予算額
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	4,563	6,241	4,713	5,897
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,950	1,950	1,950	1,950	
		正規職員 (千円)	1,950	1,950	1,950	1,950	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)	0.26	0.26	0.26	0.26	
		正規職員 (人)	0.26	0.26	0.26	0.26	
		その他 (人)					
	総コスト= ① + ② (千円)		6,513	8,191	6,663	7,847	
市民1人当たりコスト (円)		19	24	20		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 林道等の維持管理作業や生コン舗装を地元関係者に施工してもらうことで、維持管理経費の縮減が図られている。
- 排水路の整備や崩土取除き作業などを適宜実施し、道路として利用できる状況を維持することにより、山間地域の生活道・連絡道としての機能及び森林整備を促進していく基盤としての機能の確保が図られている。
- 地元関係者の減少、高齢化により、地元による作業が難しくなっている地区がある。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 27 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	森林整備の効率化のためには、林道等の維持管理が必要である。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	事業の実施により、道路としての機能を確保する目標は概ね達成している。 地元施工と業者発注の組み合わせにより、経費の縮減と効率化が図られており、妥当なものと考えられる。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	地元関係者による維持管理・地元施工などですでに民間活力を利用し、コスト削減も図られている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減の可能性] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	林道等は、森林施業及び地域の連絡道としての基盤であり、山間地域や森林への進入路として広く活用できる。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	18.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 30 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	本市が管理を行わなければならない林道・作業道の整備を、地元団体及び一部は専門業者に交付金の支出または委託業務として実施しているものであり、事業は今後も継続して行う必要がある。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項